

### 3 地域に培われた“生業”を磨き上げ、伸ばす

#### 3-1 次世代産業・サービス育成PJ

##### ■ 取組みの目標

- ・次世代に求められる産業・サービスの育成を図るほか、多様な働き方に合わせた環境の整備や、魅力的な産業集積に向けた誘致の強化を図ります。
- ・本市の地域特性や歴史的な背景、これまで培ってきた企業のポテンシャルを最大限に活かし、エネルギー・バッテリー産業などを中心に更なる産業集積や競争力の向上を図り、地域経済の活性化につなげます。

##### ■ 事業主体

国、県、市、大学、高専、市内外企業、産業支援機関、地域金融機関等

##### ■ 構成する施策

##### ① 次世代に求められる産業・サービスの育成

これからの社会に求められる産業・サービスとして、AIやIoT、ロボット等のデジタル技術の積極的な活用や、コンテンツ産業、シェアリングビジネスなどへの投資を促進し、地域産業の高付加価値化を目指します。

##### ② 多様な働き方を受容する環境の整備と人財・企業の誘致

地域に必要なスキルや人財獲得のため、サテライトオフィスの整備やワーケーションの推進など、多様な働き方に合わせた柔軟かつ魅力的な働く環境整備を進めるとともに、地方への機能移転・分散化を促すなど、人財・企業の誘致を促進します。

##### ③ 次世代エネルギー産業の集積と人財育成の拠点化

東日本大震災及び原子力災害によって甚大な被害を受けた福島県浜通り地域において、産業復興・経済の再生・再生可能エネルギーの導入拡大を図るため、風力関連産業等の集積と人財育成の拠点化を進めます。

##### ④ バッテリー・水素関連産業の集積と人財育成による競争力の強化

バッテリー産業を核とした地域活性化、持続可能な社会の実現を目指す「いわきバッテリーバレー構想」を踏まえ、本市へのバッテリー・水素関連産業の集積と人財育成により、地域産業の競争力を強化します。

##### ⑤ 地域産業のサプライチェーンを支える小名浜港の機能強化と利用促進

東日本地域のエネルギー供給や、地域産業のサプライチェーンを支える物流拠点として、更にプレゼンスを高めていくとともに、カーボンニュートラルポートなどエネルギー政策の潮流等に対応した港湾機能の充実・強化、利用促進を図ります。

## ■ SDGs



## ■ スケジュール

項目	R3	R4	R5	R6	R7
次世代に求められる産業・サービスの育成	新産業の創出・育成に向けた支援				
多様な働き方を受容する環境の整備と人財・企業の誘致	環境整備、企業・人財のマッチング				
	本社機能の移転促進				
次世代エネルギー産業の集積と人財育成の拠点化	拠点形成に向けた検討・実施				
バッテリー・水素関連産業の集積と人財育成による競争力の強化	技術力強化・人財育成				
地域産業のサプライチェーンを支える小名浜港の機能強化と利用促進	ポートセールス・助成等による利用促進				

KPI	現状値	目標値
	企業誘致数（新規累計）	—
本社機能移転等事業者数（累計）	6 件 (2020 年度見込)	24 件
本社機能移転等による雇用創出数（累計）	58 人 (2020 年度見込)	209 人
小名浜港総取扱貨物量	1,592 万トン (2019 年)	2,540 万トン

### － 再生可能エネルギー産業を軸とした浜通りの復興 －

#### CENTER for Wind Energy 構想



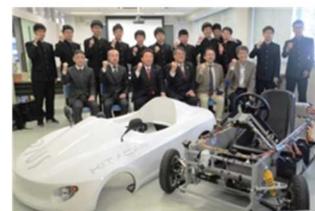
風力メンテナンス産業を柱とした産業集積の形成

#### 次世代エネルギー社会の構築



次世代エネルギー(水素)に対応した社会の構築

#### いわきバッテリーバレー構想



バッテリー産業の集積とバッテリー活用先進都市の実現